



障害者の就労支援事業所である「川内福祉作業所」から6月30日(木)、スイカの贈呈がありました。胴回り104cm重さ22kgもあるこの立派なスイカは、通所されている方と職員が、農園作業の一環で丹精込めて育てたものです。毎年、収穫を楽しみに熱心に作業されているそうです。

丹精込めて  
育てました



斧淵地区で、自主防災避難訓練を6月5日(日)に開催しました。当日は、大雨による川内川の氾濫や土砂崩れを想定し、防災行政無線で避難を呼びかけ、地区内全14自治会から700人を超える住民が参加しました。これは、地区全体で防災・減災に取り組み、災害の未然防止とともに災害への認識を新たにするためのものです。  
【写真・記事提供】=斧淵地区コミュニティ協議会

東郷  
自主防災避難訓練を  
実施しました



わくわく薩摩川内土曜塾で、「下甌島の野鳥展」の撮影者である蔵野量夫氏を講師に迎え、「下甌島の渡り鳥ウォッチング」を5月28日(土)に開催しました。参加した子どもたちは、町内を歩きながら沢山の鳥を見つけ、大喜びでした。また、「下甌島の野鳥展」は、下甌郷土館で7月末まで開催されました。

下甌  
初夏の下甌島で  
バードウォッチング!



市内各地から  
夏の風物詩 六月灯  
「Liven+」西向田町

平成28年6月30日撮影



薩摩保護区保護司会、川内更生保護女性会、入来地域更生保護女性会、川内地区BBS(青年ボランティア団体)会員が7月1日(金)、本庁を訪れ、内閣総理大臣および県知事からの「社会を明るくする運動」のメッセージを岩切市長に伝達しました。犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、よりよい社会の実現のために、連携していくことを確認しました。

犯罪や非行のない  
安全・安心な社会へ



毎年、市内の小学4年生が社会科見学のため消防署を訪れます。今年も、6月23日(木)に東郷町内の5小学校の児童が中央消防署を訪れ、消防士の仕事や消防車の種類などについて学びました。子どもたちは「なぜ消防車は赤色なのですか」「どんな訓練をしているのですか」などの質問をしながら、間近で見る消防車や救急車に目を輝かせていました。

社会科見学で  
「消防の仕事」を学びました

「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供をいただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ、投稿ください。

# 市民みんなが防ぎましよう！ 有害鳥獣被害

市内では、イノシシ、シカ、サルやカラスなどの有害鳥獣による被害が依然として増えています。本市の猟友会によると、特にイノシシ・シカに関する出動が多いようです。畑への侵入や食害により、農作物の収量が減ったり、あぜを掘られたり崩れたりなどの被害が深刻化しています。

- ① 寄せ付けけない
  - ② 侵入を防止する
  - ③ 個体数を減らす
- 被害防止対策のポイントは、の3点です。

被害が増加する最大の原因は、「餌付け」。知らず知らずのうちにやっている行為を見直しましょう。

①「寄せ付けけない」ための取り組み

- 収穫しない野菜や果実は、放置しないようにしましょう。
- 収穫せず放置されている果樹は伐採しましょう。
- 廃棄する野菜や果物、収穫しない果樹を残しておくことは、有害鳥獣にエサ場を提供していることと同じです。
- 有害鳥獣を見つけたら、必ず追いつまねよう。
- 「人間は怖い生き物」と認識させることが肝心です。

②「侵入を防止する」ための取り組み

基本的には、有害鳥獣は臆病で人を恐れます。その性質を利用し、山林に接する農地では「緩衝帯」を設けることで、有害鳥獣が身を隠す場所がなくなり、侵入しにくくなります。



「緩衝帯」とは？  
農地と山林などの間の見晴らしのよいスペースのことです。

- ▼「電気柵」は正しく設置しましょう  
電気柵はアスファルト付近に設置しても、アスファルト舗装が通電を阻止して効果が得られません。通電性の良い場所に設置しましょう。
- ・ 漏電防止のために、小まめな草刈りを行いましょう。また、電線が切れていないかなど、頻繁に点検を行いましょう。
- ・ 「注意表示板」の設置が義務付けられています。
- ・ 家庭用電源からの直結は大変危険です。重大な事故を招かないためにも必ず、専用機器(電気牧柵器)を使用してください。

③「個体数を減らす」ための取り組み

被害拡大を防ぐために、地域の猟友会の協力を得て、有害鳥獣の駆除を実施しています。

市では、有害鳥獣被害対策のため、次のような事業を実施しています。

- ▼ 国が行う鳥獣被害防止対策実践事業(農政課)
- ▼ 鳥獣被害防止施設導入事業(農政課)
- ▼ ゴールド集落鳥獣被害防止施設設置事業(農政課)
- ▼ 有害鳥獣捕獲事業および緊急捕獲活動支援事業(林務水産課)
- ▼ 有害捕獲(狩猟免許初心者)講習会受講料助成(農政課)

これらの事業費は集落に広範囲の防護柵を設置したり、猟友会に緊急捕獲を委託する費用にも充てられています。

集落ぐるみで、鳥獣被害防止に取り組ましましょう。



【連絡・問合せ先】  
有害鳥獣の捕獲・駆除に関すること  
本庁林務水産課(内線4271)  
または各支所地域振興課産業振興グループ  
(鹿島支所は産業建設グループ)

●それ以外に関すること  
本庁農政課(内線4223)または各支所地域振興課産業振興グループ  
(鹿島支所は産業建設グループ)